

ユニバーサル社会づくりの推進

～めざすべき社会像～

ユニバーサル社会づくりの推進に関する条例

年齢、性別、障害の有無、言語、文化等の違いに関わりなく、全ての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる社会

推進体制	1 ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議【467 会員(278 団体・企業、個人 189 名)】 2 ユニバーサル社会づくり推進本部会議【本部長：知事】
-------------	--

「総合指針(H30.10 改定)」により取組を推進
208 事業 20,485,640 千円

推進の基本理念・令和元年度の主な取組

<p><ひと></p> <p>人と人が相互に人格と個性を尊重しつつ、支え合う社会</p>	<p><参加></p> <p>全ての人がその能力を発揮して、多様な社会参加ができる社会</p>	<p><情報></p> <p>生活に必要な情報を円滑に取得し、及び利用する多様な手段が確保され、自らが望む意思疎通の手段を選択することができる社会</p>	<p><まち></p> <p>福祉のまちづくりの推進により、安全で安心な暮らしが確保される社会</p>	<p><もの></p> <p>全ての人にとって利用しやすく、質の高い製品及びサービスが普及する社会</p>
<p>52 事業 979,134 千円</p> <p>1 基本理念に対する理解を深める機会の提供  <ul style="list-style-type: none"> ①ひょうごユニバーサル社会づくりの充実強化 総合指針(H30.10 改定)を踏まえ、ユニバーサル社会の推進に向けた地域セミナーの開催など普及活動等を実施 ○ユニバーサル社会づくり顕彰事業の実施 ※H30：2 個人、9 団体を表彰 R1：表彰 7 月末 ②ひょうごユニバーサル大使の設置 視覚障害のある若手芸人 濱田祐太郎さんを「ひょうごユニバーサル大使」に委嘱し、本県のユニバーサル社会づくりに関する施策の広報を強化 ○配慮が必要な方に関するヘルプマークの普及啓発 ※[配付数] ～H30：20,006 個 <p>2 地縁団体等と連携した障害児への生きる力を育むための教育の実施  <ul style="list-style-type: none"> ①「トライアングル」プロジェクト実践研究事業 家庭、教育、福祉における一貫した支援を組織的かつ計画的に進めるためのマニュアルを作成し、連携モデルを県内に普及啓発 ②高等学校における通級による指導実践研究事業 通級指導の実践研究を行い自立活動の指導内容や特別の教育課程の編成を研究 <p>3 ユニバーサル社会づくりに資する人材の養成 <ul style="list-style-type: none"> ①ユニバーサルカフェ開設応援事業の実施 障害者、高齢者、子育て世代等、誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりを支援 ○「みんなの声かけ運動」の充実強化 誰かがまちなかで困っていたらみんなが声をかけて助け合う声かけ運動を展開 ※[推進員数]～H30：4,840 名 [応援協定締結]～H30：197 団体 </p></p></p>	<p>95 事業 5,433,945 千円</p> <p>1 高齢者、女性、障害者が多様な勤務形態を選択できる環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①障害者の就労・工賃向上支援に向けた取組の推進 「+NUKUMORI」ショップの楽天市場・道の駅等への出店、障害者福祉事業者と農業者とのマッチング等、農福連携の促進 ②ひょうごケア・アシスタント推進事業の実施 地域住民が、介護の補助的業務に OJT 研修を受けながら従事する制度を導入 <p>2 地域社会全体で高齢者、女性等の社会参加を促進する体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①地域相互見守りモデル事業 地域活動を通じて交流を図り、近隣住民が日頃から助け合いができる社会の構築を支援 ○保育所・認定こども園の整備の推進 ※[保育所、保育所型認定こども園、幼保連携型認定こども園の定員数] H30:103,301 人 ②企業主導型保育事業の促進 新たに推進窓口を設置し企業向けセミナーを開催。地域の子供を受け入れる地域枠定員を 2 名以上設けた企業主導型保育事業を支援 <p>3 障害者等が生活を営む上での障壁を除去するための支援の体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①県東部における障害児者リハビリテーション施設の開設 阪神地域に、脳性まひ等肢体不自由児者を主とした診療・リハビリ拠点を整備 ②盲ろう者への理解促進・盲ろう者の社会参加の促進 学校等での出前講座の開催や、盲ろう者と地域住民との交流イベントを実施 ③SNS を活用した教育相談体制の構築 児童生徒が気軽に相談できる SNS 相談を通年開設 <p>4 文化芸術活動、スポーツ等を通じた様々な人との交流 <ul style="list-style-type: none"> ①「障害者スポーツ推進プロジェクト」の展開 2020 パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西等に向け、障害者スポーツの振興を推進するとともに「ひょうご障害者総合トレーニングセンター」(仮称)を整備(R4 年度完成) </p></p></p></p>	<p>19 事業 709,993 千円</p> <p>1 手話、点字等の多様な手法により全ての人が情報を円滑に取得できる措置 <ul style="list-style-type: none"> ○県広報、県議会広報のユニバーサル化の実施 広報番組の字幕スーパー・手話画面挿入、HP の文字サイズ等変更、点字広報誌の発行 ○ひょうご多文化共生総合相談センターの創設 外国人等からの相談に対し、相談員や翻訳アプリ等により 11 言語で対応 <p>2 手話通訳等を行う人材の養成及び手話等を学習する機会の確保 <ul style="list-style-type: none"> ①手話普及促進事業 新たに聴覚障害児向け親子手話講座を実施 <p>3 音声による円滑な情報取得の機会の確保 <ul style="list-style-type: none"> ①点字図書館におけるオーディオブックの充実強化 点字図書館において、中途失明者など点字未修得者も利用できるオーディオブックを充実強化し、情報取得等の利便性を向上 <p>4 災害時に必要な情報を迅速かつ的確に伝達する体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①災害時要援護者(要配慮者)への対策 防災と福祉の連携による個別支援計画作成のモデル事業を県内 37 市町で実施 ②スマホアプリ版「ひょうご防災ネット」の配信 音声読み上げ機能や 12 外国語対応により、県及び県内の市町からの「避難に関する情報」などの緊急情報や、防災情報を配信 <p>5 情報通信技術の活用やその進展による利便性を全ての人が享受できる環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ①聴覚障害者への情報配慮やコミュニケーション支援 県立施設におけるタブレット端末での音声文字変換アプリ等の活用、県主催に加えて企業主催イベントにおいても手話通訳者・要約筆記者を派遣 <p>②障害者の芸術・文化活動の推進 ひょうご障害者芸術文化活動支援センターを設置(H31.4 月)し、ワークショップや障害者芸術人材バンクを運営して障害者の芸術・文化活動を総合的に支援</p> </p></p></p></p></p>	<p>33 事業 13,161,934 千円</p> <p>1 利用状況の変化に対応した構造・設備を有する住宅の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ○人生いきいき住宅助成事業の実施 既存住宅のバリアフリー化を図るため、段差解消、手すり設置等の住宅改造を推進※H30:1,598 件 R1(予定):2,000 件 ○県営住宅におけるバリアフリー化の推進 誰もが安全で安心して暮らせる住まいの提供を図るため、建替事業等によりバリアフリー化を推進 ※H30：63% R1(予定):65% <p>2 公共の施設・交通機関におけるスロープ等の設備設置や施設の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルツーリズムの推進 ユニバーサルツーリズムマップの作成や、地域における受入ネットワーク構築に向けたフォーラム等を実施 ①公共交通バリアフリー化の促進 <ul style="list-style-type: none"> ①鉄道駅エレベーター設置 ～H30:128 駅 R1(予定)11 駅 ②鉄道駅舎ホームドア設置 ～H30: 4 駅 R1(予定)5 駅 ③ノンステップバス ～H30:507 台 R1(予定)41 台 ○公共施設のバリアフリー化の推進 新設や再整備を行う道路・公園のバリアフリー化を推進 ※R1(予定):約 10km(歩道整備等) ○兵庫ゆずりあい駐車場制度の普及促進 ※駐車場登録 1,833 施設 4,645 区画 利用交付数 27,605 件 </p></p>	<p>9 事業 200,634 千円</p> <p>1 全ての人にとって利用しやすいよう設計された日用品等の研究開発の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○県立施設における福祉器具等の情報提供、相談対応の実施 但馬長寿の郷や西播磨総合リハビリテーションセンターにおいて、企業と連携した福祉器具の特別展示セミナーや情報提供、相談対応を実施 <p>2 先端的な技術を活用した医療又は介護の提供のための研究開発の促進 <ul style="list-style-type: none"> ①ISPO 世界大会 2019 にあわせた障害者スポーツ応援イベントや介護・医療ロボット見本市の開催 ○ロボットリハビリテーションの拠点化推進 現場ニーズに則した研究開発・商品化、介護ロボット等の開発・導入支援を実施 ○小児筋電義手バンクの運営支援 <p>3 全ての人にとって利用しやすいよう配慮したサービス提供の促進 <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサル推進貸付(融資)による旅館・ホテルのバリアフリー化や外国語案内設置等の支援 <p>3 利用者等の意見を尊重した公共施設等の整備や運営体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> 施設のバリアフリー情報の公表や「チェック&アドバイス制度」の推進 多くの利用がある施設のバリアフリー情報の公表、福祉のまちづくりアドバイザーによる施設整備・管理運営の点検・助言を実施 ※[チェック&アドバイス]～H30:110 件 R1(予定):20 件 <p>4 住み慣れた地域で安心して暮らすためのサービス提供の促進 <ul style="list-style-type: none"> ①重症心身障害児者に対する生活支援の充実 24 時間常時看護師の配置による医療支援型グループホームの整備を促進 重症心身障害児向けの通所支援事業所等が未設置の市町に対して整備を支援 </p></p></p></p></p>

